

1. 法人の現況

令和 5 年度の活動状況総括

サービス事業所におきましては、グループホーム、就労継続支援 B 型、生活介護、放課後等デイサービスの 4 事業につきまして、利用者様、ご家族様のニーズに応えるべくサービス向上を図りながら継続運営いたしました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響もなく運営できたことに安堵しております。

人材育成の面においては、職員研修計画の立案、研修実施、振り返り等を充実することができました。

初めての試みとしまして、福島市選挙管理委員会のご協力を得て、模擬選挙体験会を開催。選挙の仕組みを学び、実際と同じ会場の雰囲気を経験することができました。利用者様だけでなく、保護者の方にも参加していただきました。

2. 事業所の主な活動

① 法人本部

- ・ 理事、評議員、監事ともに定員数を確保し、各役員会ともコロナ感染症予防対策を行いながら円滑に行いました。
- ・ 福祉避難所として、避難訓練に参加しました。
- ・ 加入しております各種協議会に参加し、他事業所や行政担当者とも積極的に情報交換を行いました。
- ・ 福島刑務所からの依頼を受け、農福連携をしている事業所としての取り組みについてお話しをさせていただきました。
- ・ 福祉が初めての方や、高齢、他業種からなど多種多様な人材採用を行いました。

② 大生信夫の里 大生の館グループホーム

- ・ 防災訓練及び避難訓練の実施。
 - ・ 誕生会の実施。
 - ・ 食レク活動や外出支援などの余暇活動の提供。
 - ・ 本年度も福島市と委託契約をし、福島市地域生活支援ネットワーク事業（グループホームの生活を体験する自立体験応援事業、緊急的に一時お預かりする緊急一時事業）を行政、相談員などと連携しながら行いました。
- また、行政からの依頼をうけ、病院のケースワーカー、相談事業所相談員の方にお越しいただき、この事業の説明会を開催しました。

③ 大生信夫の里 就労継続支援 B 型事業所大生リコピントマト農場

- ・ 社会参加を見据えた実習場所として、支援学校からの実習生を積極的に受入れました。

- ・道の駅やスーパー店舗において、トマト委託販売を行いました。
 - ・直売所でのトマト販売をできるだけ利用者さんができるよう工夫しました。
 - ・農福連携に力をいれ、地域の果樹園、農家さんからのお仕事依頼を積極的に受けました。また、室内でできる請負作業も企業さんより頂戴し実施しました。
 - ・防災、避難訓練の実施。
- ④ 大生信夫の里 放課後等デイサービスたいせいジャンダルム
- ・年間を通し通常営業を行うことができました。
 - ・運動、コミュニケーション、生活自立等に向けた療育を、月間計画の中にバランスよく組み込み療育活動を行うことができました。
 - ・防災、避難訓練の実施。
- ⑤ 大生信夫の里 児童発達支援事業所 たいせいジャンダルム
- ・事業休止継続中です。
- ⑥ 大生信夫の里 生活介護
- ・自然豊かな地域柄を活かしたウォーキングなどの活動、創作活動、個別活動の3つをバランスよく活動に取り入れ、利用者数を伸ばすことができました。
 - ・支援学校からの実習受け入れを行いました。
 - ・コロナ感染予防に努めながら外出支援を行いました。
 - ・就労の作業にも参加し、就労意欲を高めながら作業訓練としての活動を実施しました。
 - ・防災、避難訓練の実施。
 - ・福島市福祉作品展に出展。利用者さんが協力して制作した壁画が、福島市福祉事務所長賞を受賞しました。
 - ・自主制作品を作り、トマト直売所にて販売しました。
- ⑦ 地域生活支援 日中一時サービス
- ・福島市、伊達市と契約締結し、日中一時サービスを提供しました。

以上